

第8回小金井市保育検討協議会 意見・提案シート

提出日 平成27年12月28日(月)

意見・提案内容(全1件)

①

・第8回の検討協議会では、「公立か私立か」「公立を残すか否か」を議論したいという意見が出されていたと記憶していますが、保育は公立と私立認可園を敵対させるものではない筈です。私は世田谷の私立(社福)保育園の職員です。永年勤務しています。良い仕事のできる園だと思って働いてきました。けれども私の子ども達は公立でお世話になりました。ですから、どちらの良い所も弱点もそれなりにわかっているつもりです。その立場から言わせていただくと、公立私立、両方必要です。議論の中でも出ていましたが、公立は市の機関ですから、小金井市がどんな保育を良しとするのか体現していく働きが求められています。小金井の保育の標準スタンダードです。私立だとそれに捕らわれないもっと巾のある自由さが魅力です。

小金井ではかつて、牛乳給食は公立園のみで実施されてきました。けれども、市内総ての保育園で必要だということで、私立園にも広げられました。子どもの使う午睡用のフトン、職員の配置などについても(現状では全く同じとは言えないにしても)同じです。最近では園児に対する巡回指導も公立からまず始まり、私立園にも適用されています。小金井全体の保育の質を引き上げていく役目が公立にはあるのです。公立ですから、市民全体の為に働かなくてはいけないのですから。逆に、公立ですから特定の宗教色のある保育はできない、備品費などの使途が自由にできないなどもあります。又、虐待の扱いなどについても言われていましたが、文章にあった内容というのは、公立は市の機関なので、例えば児童福祉ネットワークなどを市が作る時に、その事務的な中心になり得ますが、私立ではそうはいかない。これは私立がダメということではなく、公的な責任を果たしてもらう為には公立でなければならないということだと思います。私立園ならば市にそういうものを作って下さいと言うことはできますが、公的中心には成り得ないのだと思います。

どうか、タメにする議論はせず、有意義な結論に至っていただけますよう切望いたします。